

## 令和4年度 施設としての自己評価

ミキネ おひさまの森保育園

平素はミキネおひさまの森保育園の運営にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。  
以下の通り、園の自己評価を付けました。今後一層より良い園になるよう職員一同努力してまいります。

【1】どちらかというとできていなかった 【2】どちらかというとできていた 【3】ほぼできていた 【4】よくできていた

年目標	自己評価	内容
<b>●保育内容(今年度の重点)</b>		
<b>・愛着についての理解と愛着形成の実践</b>	3	研修やミーティングを通して学びの場を設け、理解を深めています。また個々に合わせた”心地よい過ごし方”について家庭と連携を取り実践した。特定の保育者との愛着を基盤に都度、愛着の相関図を見直し、安心、安定して過ごせるよう丁寧に関わることができた。
愛着についての理解を深め、子どもの想いを受容し、個々に合わせた愛着形成を実践していく		
<b>・子どもの意欲を伸ばす声掛けの検討と実践</b>	3	取り組む姿を認め、一緒に遊んだり、見守ったりする中で、意欲に繋がった声掛けを職員間で共有した。また家庭と連携を取り、同じような声掛けを意識していたことも意欲に繋がった。
子どもの興味や関心を捉えて声をかけ、やる気を引き出し自信や意欲に繋げていく		
<b>●施設設備</b>		
<b>・保育室環境について</b>	3	子どもの発達や興味、関心に応じて、部屋を分けたり、静と動の遊びの場を分けたりと個々が充実して過ごせるよう職員全体で話し合い、実践してきました。子どもの「あそびたい」「やってみよう」という気持ちが満たされていた。
一人遊びの空間や友だちと関われる空間をコーナー設定し、個々が充実して過ごせるようにしていく		
<b>・園周辺環境の活用について</b>	2	今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、連携園との交流は難しかったものの交番や消防署などに出向き、職員の方と交流の機会に恵まれ子どもの興味、関心、意欲の膨らみに繋がった。また季節に合わせ、散歩コースを選定し自然物に触れる機会を多く取り入れた。
地域の特性や環境を理解し、保育に取り入れ活かしていく		
<b>●保健・衛生</b>		
<b>・感染症対策について</b>	4	登降園における入室の制限や職員、子ども、同居家族の日々の検温記録を確認し健康状況の把握と早期対策を行った。また感染状況を掲示し保護者への情報発信に取り組んでいます。手指消毒、玩具、保育施設の消毒、換気などを徹底し感染対策に努めた。
コロナウイルス感染症をはじめ、感染症の予防や感染症拡大防止に努めていく		
<b>●運営</b>		
<b>・行事のありかたについて</b>	3	最新の感染状況を確認しながら行事の開催方法を検討し縮小や中止の判断を行った。行事を行う意味や意図を考え、制限がある中でも子どもの育ちを最大限、表現できる方法の話し合いを重ねる1年となった。
コロナ禍における行事のあり方を検討し、子どもの育ちを表現できる最善の環境を模索していく		
<b>・保護者との連携体制について</b>	3	送迎時の会話や連絡ノートでのやりとりから不安や悩みを汲み取り、寄り添ったり成功体験を共に喜びあったりして保護者との関係性を育むことができた。ともに子どもを育てる意識を持ち子どもだけでなく、保護者にとっても心地よい居場所となるよう信頼関係を深めていけるよう引き続き努めていく。
送迎時や連絡ノートでのお伝えを通して「ともに子どもを育てる」意識を持ち連携体制を取っていく		
<b>・危機管理について</b>	3	軽傷記録やヒヤリハットから原因や対策について話し合い、怪我や事故の防止に努めた。また月1回の避難訓練を行い、様々な状況を想定した災害時の対応や反省点を話し合い、万が一の事態への意識を高めることができた。
子どもや職員の命を守る自覚を持ち、危険の予測や回避に努め発生時には被害を最小限にとどめることが出来るよう努めていく		

**【総評】**

平素より、園の運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事の中止や縮小が続きましたが制限や規制がある中でも感染対策を徹底し開催した発表会や運動会には保護者から喜びの声を多くいただきました。また、園内外での研修では、子どもの健康や安心、安全な保育についての学びを深めました。今後も、職員間や家庭と想いを揃え保育の質の向上、保護者支援に一層尽力して参ります。今後とも、よろしく願いいたします。

令和5年3月1日

園長 紅林 ゆかり

上記の園自己評価の結果を掲示ともに開示させていただきます。尚この掲示は3/1から来年度4/末日まで開示します。